

90周年企画

2006年4月23日 東部地区

写真が掲載できなかった最後の年である2006年。この年は春高陸上部にとって大きな節目であったのはいまさら語るにおよばない。

<http://www.kasuriku.net/nomo/146.html> (参照)

ただ私は高校生の究極の目標であるインターハイ制覇という歴史に残る現実も、

それ以外の試合結果もきちんと

と評価したいと思う。東部、県、

関東、全国と、どの試合を何位

で終わろうとも真正面から受け

止めべきだと思っている。

競技すれば当然順位はついて

しまうが、そこまでの過程をどう頑張ったかが一番大切だ。







100m、200mともに上位独占は春高90年の中でも初。逆にそれくらい
東部地区というものは甘くないということ



「諸君、勝負には二種類ある。ひとつは他人に勝ったか負けたか記録はどうだったか。もうひとつは自分との戦い。ここにくるまでの自己管理がどうだったか。どういう練習を



積み、どういう栄養のものを食べて体を作り、どういう精神集中をしてきてここに挑んだのか。その結果はどうだったのか。・・・私は後者のほうが大事だと思う。足の速さは動物である犬などにはかなわないかもしれない。しかし君らは人間として、この試合の結果を糧として受け入れて生きていかなければならない。

この名門東部大会から今年も全国で戦う選手が多く巣立ってほしい。」

・・・以上、OBからの閉会式での言葉である。



筆 撮 野本 順一